

熊本地震薬剤師班 活動報告書

報告者 草場 郡之

同行した薬剤師 比佐 恭子、水元 英彦

活動日 平成 28 年 4 月 22 日 6 時 00 分～平成 28 年 4 月 23 日 17 時 00 分

場所 エミナース
広安西小学校

活動内容

4/22 (金)

- 6 : 00 宮崎県薬剤師会を自動車で出発しました。
- 11 : 00 熊本県薬剤師会に到着し、活動内容の説明を受けました。
- 11 : 30 熊本県薬剤師会を出発しました。エミナースからの要請で PC、USB、ケーブル等を預かる予定でしたが、間に合わず、USB のみ移動途中で購入しました。
- 13 : 00 エミナースに到着し、前日組と引継ぎをしました。山口県薬剤師会のメンバーと合流しました。
- 13 : 30 エミナースで二手に別れ、広安西小学校へ出発しました。
- 14 : 00 広安西小学校に到着。JMAT (くまもと森都病院) と合流し、救護所にて調剤をしました。
- 17 : 00 広安西小学校での診察が終わり、JMAT が引き上げたので、医療相談、OTC 薬での対応を行いました。
- 18 : 00 エミナースへ移動するため、広安西小学校を出発しました。
- 18 : 30 エミナースに到着。救護所にて、エコノミークラス症候群の診察が行われていたので、初回アンケートの聞き取りなどを補佐しました。またその間も医療相談、OTC 薬での対応を行いました。
- 21 : 00 診察終了。以降、翌朝 7 : 00 まで、山口県薬剤師と交代で業務にあたりました。

4/23 (土)

- 5 : 00 看護師巡回に同行し、エミナースを見回りました。
- 5 : 30 巡回を終了し、救護所での医療相談、OTC 薬での対応に戻りました。
- 7 : 00 エミナースや避難所周囲にあるトイレの見回りを行い、手指消毒のポスターを掲示、石鹸や消毒用エタノールの補充を行いました。
- 8 : 40 再び二手に分かれエミナースを出発し、広安西小学校へ移動しました。
- 9 : 00 救護所を開け、医療相談、OTC 薬での対応を行いました。
- 10 : 30 JMAT (くまもと森都病院) が到着したので、調剤を行いました。
- 13 : 00 交替の組が到着したので、引継ぎを行いました。
- 13 : 30 救護所での活動を終了し、広安西小学校を出発しました。
- 17 : 00 宮崎県薬剤師会に到着しました。

感想

移動は自動車で、宮崎 I C から高速道路を通り、八代 I C で降りました。八代 I C より北は通行止めとなっていました。以降、短時間の渋滞はあったものの、スムーズに熊本県薬剤師会、エミナスへと移動することができました。途中の道路は、地震の影響で盛り上がっている箇所があり、隆起が大きいところは交通整備員が徐行の指示を出していました。町並みは瓦が落ちている家が目立ち、中には全壊しているところもありました。しかしそれらは全体のごく一部で、大部分は壁がひび割れていたり、ガラスが割れている程度で原型を留めているように見えました。後で聞いた話ですが、一見すると無事な建物が多いが、中は物が倒れ、壊れており、とても人が住める状況ではなかったそうです。ゴミの収集も難航しており、建物の周辺には、壊れた家具や家電が積んでありました。

避難所についてですが、私が行ったエミナスは電気も水道も復旧していたため、それほど不便を感じませんでした。場所も空港の近くと、比較的良い立地であったためか、食料などの物資も十分にありました。被災者の方々はエミナス内の廊下や部屋にマットを敷き、過ごされていました。当然ながら隣の人との距離も近く、プライバシーのない状態なので、ストレスを感じられました。また、余震を恐れて、本震後からずっと車中泊をしているという方もおり、大変苦労されている様子でした。

業務については、基本的に医療相談、O T C 薬での対応を行い、医師がいるときには災害処方箋に基づき、調剤を行いました。医薬品は十分ではありませんが、緊急性の高い医薬品は一通りそろっており、医療チームの協力もあって、調剤に困ることはありませんでした。また私が現場に行った日には、すでに営業を再開している病院、薬局がいくつかあり、定期薬がない方にはそちらを紹介するという方法も選択できました。

全体としては、医療チームのみならず、たくさんのボランティアの方々の協力もあり、避難所は思いのほかうまくまわっていると感じました。逆に、その多くの人材を把握しなければならない指揮系統は、全体を把握できておらず、対応に苦慮されている様子でした。おそらくは現場の方々が、それぞれの判断で動いた結果だと思われます。現場では各々がニーズに合わせて動かなければならない場面が必ずあると思います。しかし、やりっぱなしにすると指揮系統の混乱が起きるので、被災地での活動内容を、それぞれがしっかり報告することが重要だと感じました。